

冬季に流行する感染性胃腸炎

ノロウイルス感染症

保健センター医師 吉田正雄

ノロウイルスとは？

元々は「ノーウォークウイルス」(1968年発見:米国オハイオ州のノーウォークという町の小学校で集団発生した急性胃腸炎の患者の糞便から検出されたため)と呼ばれ、その後「小型球形ウイルス」と呼称されていました。小型球形ウイルスには異なる2種類のウイルスがあることがわかり、2002年の国際ウイルス学会で「ノロウイルス」、もう一つを「サボウイルス」と正式に命名されました。

ノロウイルスによる胃腸炎の症状は？

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は一年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスは手指や食品を介して経口で感染し(潜伏期間は24~48時間)、ヒトの腸管で増殖し、水様性下痢、嘔吐、腹痛などを惹き起こします。発熱は軽度(通常38℃以下)のことが多いです。健康な人は軽症で回復します(通常1~2日症状が続いた後、治癒し、後遺症もありません)が、幼児や高齢者では重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡するケースもあります。なお、感染しても発病しないケースや軽い風邪のような症状で終わることもあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られます。したがって、予防が重要です。

感染経路は？

考えられる感染経路は以下の通りです。

- ①汚染された貝類を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合
- ②食品取扱者(食品製造業、飲食店の調理人、家庭では妻など)が感染していて、その者を介して汚染した食品を食べた場合
- ③患者のノロウイルスが大量に含まれる糞便や吐物から人の手などを介して二次感染した場合
- ④家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いとこ

ろではヒトからヒトへ飛沫感染(または飛沫核感染=空気感染)など直接感染する場合

- ⑤ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合

以上のような多彩な感染経路がノロウイルスの制御を困難なものにしています。近年、ノロウイルスによる食中毒は急激に増加しており、平成14年以降は食中毒の原因物質の第1位となっています。平成24年度の食中毒発生状況(厚生労働省「食中毒統計」)によれば、ノロウイルスによる食中毒は、事件数では、総事件数1,100件のうち416件(37.8%)、患者数では、総患者数26,699名のうち17,632名(66%)となっており、事件数、患者数ともに第1位です。



治療法は？

ノロウイルスに有効な抗ウイルス剤はありません。通常は対症療法を行います。乳幼児や高齢者では脱水症状や体力消耗に対して水分と栄養の補給を十分に行います。脱水がひどい場合は病院で輸液(点滴)が必要となります。下痢止め薬は病気の回復を遅らせることがあるのでできるだけ使用しません。

原因食材は？

食材としては二枚貝の生食、特に牡蠣(カキ)が多いですが、アサリやシジミ、ハマグリなども原因食品となっています。なお、85℃以上で1分間以上の加熱を行えば感染性はなくなるとされていますので、二枚貝は中心部まで十分に加熱してください。ま

学生定期健康診断

学校保健安全法は、「学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における保健管理に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。」と定めています。

本学では、この法に則り、毎年4月の初旬に学生定期健康診断を実施しています。

したがって、大学は年に1回の定期健康診断の「実施」を、学生の皆さんは定期健康診断の「受診」が義務づけられています。

受診状況は、1998年度に69.7%と底値でしたが、2007年度86.0%、2008年度85.0%、2009年度84.1%、2010年度84.4%、2011年度84.2%、2012年度83.8%、2013年度82.9%であり、ここ数年84%前後を維持しています。

健康診断で発見される病気には、結核・自然気胸等の「呼吸器疾患」や不整脈・心雑音等の「循環器疾患」、蛋白尿・血尿・腎炎等の「腎疾患」、肥満による脂肪肝・糖尿病・脂質異常症等の「内分泌・代謝疾患」等です。なかでも結核は、人から人へ感染する我が国最大の感染症で、今でも1日62※人が「発病」しています。結核に「感染」すると、すぐに「発病」する場合もありますが、大半は、免疫力・抵抗力の低下により「発病」します。

未受診の学生で病気の発見や治療が遅れ、休学を余儀なくされるケースも見受けられます。

また、大学で発行する健康診断証明書は、この健康診断を基に作成します。未受診で発行されない場合は、外部医療機関を受診し、余分な時間と高い証明書を支払うこととなります。

**年1回の
「健康確認」のため、
毎学年
受診しましょう。**

※2011年新登録結核患者数より



た、牡蠣などの二枚貝は、体調の悪いときは生で食べるのを控えましょう。

二次汚染の予防

- ①手洗いは、調理前、食事前、トイレに行った後、患者の汚物処理を行った後には必ず行います（石鹼自体にはノロウイルスを直接失活化する効果はありませんが、手の脂肪などの汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥れやすくする効果があります）。
- ②生の二枚貝に触った手や器具（包丁やまな板）で、他の食品を扱わないようにします。
- ③貝の砂抜きをするときや、殻から中身を出すとき、貝を洗うときは、貝に付いている水が食品や食器、調理器具に飛び散らないよう注意します。砂抜きをするときは、フタをするといいでしょう。
- ④包丁やまな板を使うときは、先に生野菜などの加熱しない食品を切り、生の貝は後で切るようにします。
- ⑤生の貝に使った調理器具類やスポンジやフキン等は、使い終わったらすぐに洗います。洗った後、熱湯をかけると消毒効果があります。

患者の便や吐物の処理

- ①感染者の便や嘔吐物から感染することもあるので、触ったら石鹼で手を洗います。
- ②便や嘔吐物を処理するときは、使い捨ての手袋とマスクを着けて、汚物の中のウイルスが飛び散らないように、ペーパータオルなどで静かに拭き取ります。
- ③使ったペーパータオルなどはビニール袋に密閉して廃棄します。この際、ビニール袋に廃棄物が十分に浸る程度の量の次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を入れておけば完璧です。
- ④便や嘔吐物で汚れた床などは、表示されている濃度にうすめた塩素系漂白剤を含ませた布でおおい、しばらくそのまま置いて消毒します。

2014年度学生定期健康診断について

1. 定期健康診断について

定期健康診断は、学校保健安全法に基づき年に一度、キャンパス別に右ページの日程で実施します。
在学生全員が、該当する健康診断日時に以下の事項に注意のうえ、必ず受診してください。

(1) 定期健康診断は、この期間以外行いません。

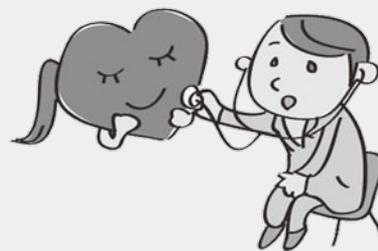
(2) 定期健康診断を受けないと、

① 授業等で必要な臨時健康診断は受診できません。

② 就職・教育実習・奨学金・留学・スポーツ大会・アルバイト等に

必要な「健康診断証明書」の発行はできません。

外部医療機関での健康診断は、高額負担になります。



(3) 結果について

① 胸部レントゲン撮影の結果以外は、当日、文書で通知します。

② 胸部レントゲン撮影の結果は、保健センターでの閲覧になります。

③ 「二次検査が必要な方」には、文書で通知します。

2. 受診上の注意事項

(1) 学生証・ボールペン・鉛筆・消しゴム等を持参してください。

(2) 貴重品は持参しないでください。衣類等は、袋を持参し、自己の責任で管理してください。

(3) メガネ・コンタクトレンズを使用している方は、必ず装着し、視力検査を受けてください。

(4) 胸部レントゲン撮影を行いますので、ネックレス・金具のついた下着やワンピースの着用は、避けてください。

無地のTシャツの着用を勧めます。また、学部新入生は、心電図検査を行いますので、ストッキングの着用は、避けてください。

3. 健康診断証明書の発行について

(1) 定期健康診断受診者を対象に発行します。発行は、準備の都合上、5月初旬になります。

(2) 後日、ホームページ・掲示等でお知らせします。

保健センター	多摩キャンパス	042-674-2756
	後樂園キャンパス	03-3817-1722
	市ヶ谷キャンパス	03-5368-3503

2014年度学生定期健康診断および心臓メディカルチェック日程

多摩キャンパス

1. (法・経済・商・文・総合政策) 学生定期健康診断

会場 多摩キャンパス 8号館 8301・8302号室						
受付時間 月日	学部学生 女性		学部学生 男性			学部学生 男性・女性 大学院生 男性・女性
	9:40~10:00	10:20~10:40	13:00~13:20	13:50~14:10	14:40~15:00	15:20~15:40
4月3日(木)	法(全)4年以上 経済(全)3年	総政(全)4年以上 商(全)3年	法(全)4年以上	商(全)3年	経済(全)3年	総政 男性(全)4年以上
4月4日(金)	法(全)3年	文(全)3年	経済(全)4年以上	法(全)3年	文(全)3年	経済 女性(全)4年以上 文系大学院生 女性(全)
4月5日(土)	商(全)4年以上 法(全)2年	総政(全)3年 総政(全)2年	商(全)4年以上 総政(全)3年	法(全)2年	総政(全)2年	文系大学院生 男性(全)
4月7日(月)	経済(全)2年 商(全)2年	文(全)2年	文(全)4年以上 文(全)2年	経済(全)2年	商(全)2年	文 女性(全)4年以上
4月9日(水)					14:40~15:00 男性・女性 科目等履修生・選科生・ 研究生等(全)	

2. 学部新入生(法・経済・商・文・総合政策)心臓メディカルチェックおよび定期健康診断

会場 多摩キャンパス 8号館 8301・8302号室					
受付時間 月日	学部学生 女性		学部学生 男性		
	8:30	9:20	12:10	13:00	13:50
4月8日(火)	経済(全)1年 総政(全)1年	法(全)1年	法(法律)1年	法(国・企・政治)1年 経済(国・経・公環)1年	経済(経済・経情)1年 総政(全)1年
4月9日(水)	文(全)1年	商(全)1年 学士入学生・編入学生	文(全)1年	商(経営・会計)1年 学士入学生・編入学生	商(貿易・金融)1年

後楽園キャンパス

3. (理工・社会人大学院・文系大学院・専門職大学院) 学生定期健康診断

会場 後楽園キャンパス 6号館 6402号室						
受付時間 月日	学部学生・大学院生 男性				学部学生・大学院生	大学院生 男性・女性
	9:40~10:00	10:20~10:40	13:00~13:20	13:50~14:10	14:40~15:00	17:00~18:00
4月1日(火)	数学・物理・都市・ 電気・経工・生命・ 人間 2年	応化・情報 2年 都市・精密・ 情報・生命 3年	数学・電気・応化・ 情報・生命 4年以上	精密 2年 物理・都市・精密・ 経工 4年以上	学部学生 2年・4年以上 女性	社会人・文系大学院(全) 法務研究科在学生 男性・女性 国際会計研究科(全) 戦略経営研究科(全)
受付時間			14:00~14:20	14:50~15:10	15:40~16:00	
4月2日(水)			数学・物理・電気・ 応化・経工 3年 理工大学院 経工・情報	理工大学院 数学・物理・都市・精密・電気・ 応化・生命・情報セキュリティ	理工大学院 女性 学部学生 3年 女性 科目等履修生・研究生(全)	

4. 学部新入生(理工学部)心臓メディカルチェックおよび定期健康診断、法務研究科新入生定期健康診断

会場 後楽園キャンパス 6号館 6402号室						
受付時間 月日	学部学生 男性			学部学生 女性	法務研究科新入生	
	8:30	9:20	10:00	12:10	12:50	13:30
4月2日(水)	数学・電気・生命 1年	物理・精密・情報 1年	都市・応化・経工・ 人間 1年 学士入学生・ 編入学生	学部学生 1年 学士入学生・ 編入学生	女性	男性

お知らせ

二次検診について

保健センターでは、健康で充実した学生生活を送るため、定期健康診断結果、所見のある学生に対して、循環器、腎・泌尿器、内分泌・代謝・その他(貧血)と系統別に分類し、尿・血液・血圧・心電図・胸部エックス線等の二次検診を実施しています。

また、心臓メディカル検査の結果、所見のある学生に対して、同様に二次検診を実施しています。

これらの検診は、病気の予防、早期発見・治療のために必要なものです。

本年度については、5月31日の呼吸器二次検診で終了しました。

保健センターで指定した日時に検診を受けていない学生については、外部医療機関を紹介しますので、保健センターに来所してください。

「尿検査証明書」の提出について

「尿検査証明書」は、入学時の健康状態を把握するための重要な「証明書」です。

2013年以前に入学した学部生および法務研究科生は、「尿検査証明書」を定期健康診断終了時に提出することになっていましたが、未提出者は、所属する下記キャンパスの保健センターに提出してください。

未提出のまま放置すると、就職・奨学金・留学等で必要な健康診断証明書の発行はできません。

また、本年度入学の学部生および法務研究科生で、定期健康診断時の尿検査が未受検の学生については、「尿検査証明書」を提出することになっています。未提出者は、至急提出してください。

1. 提出場所 【多摩キャンパス】 2号館2階 保健センター事務室
【後楽園キャンパス】 1号館1階 保健センター後楽園キャンパス分室
【市ヶ谷キャンパス】 1号館1階 保健センター市ヶ谷キャンパス分室

2. 提出に際しての注意

- ① 必要事項をすべて記入してください。
- ② 外部医療機関で証明を受けてください。



体組成計・血圧計の設置について

保健センターでは、学生・教職員の健康管理の一環として体組成計および自動血圧計を設置しています。

体組成計は、体内に貯蔵されている脂肪(体脂肪)や筋肉量を計定し、外見では見つけられない肥満の発見や、行き過ぎたダイエットを防止する効果もあります。体脂肪の大部分は皮下に蓄積しますが、内臓の周囲に蓄積するものもあり、糖尿病、高脂血症、動脈硬化症、高血圧などの生活習慣病の原因ともなっています。ご自身の健康チェックに、体組成計を下記の要領で利用してください。

1. 設置場所 【多摩キャンパス】 2号館2階 保健センター
【後楽園キャンパス】 1号館1階 保健センター後楽園キャンパス分室
【市ヶ谷キャンパス】 1号館1階 保健センター市ヶ谷キャンパス分室

2. 利用時間 【月～金】 診療日の 10:00～16:30
【土】 診療日の 10:00～11:30
(ただし、休業期間中は別途掲示します。)

